東海道中膝栗毛七編

下

へ13
4302
15

ヘ13
4302
15

20526 〈2000-251〉

道中膝栗毛七編 下

踏ふまえの目もまや西ふおちて。東ふ下ふ出ふ。

かぐらさまを法。三ツ楽ふ拍子ふ打ちうちうてうの謡ふ竜

宮の如くふ舞ふ踊ふる。ふ一サヤ〳〵おこゑ。

中ぢやの一コレハおまつりおつきでおごろ。まことに家一ハイ

おせへふをりやまを一おあ西ハ八ハ山やをごまを一コレハ

ごまつくの元祖おふすつぢやとの。コレ〳〵おこゑや。れこへ東ふ

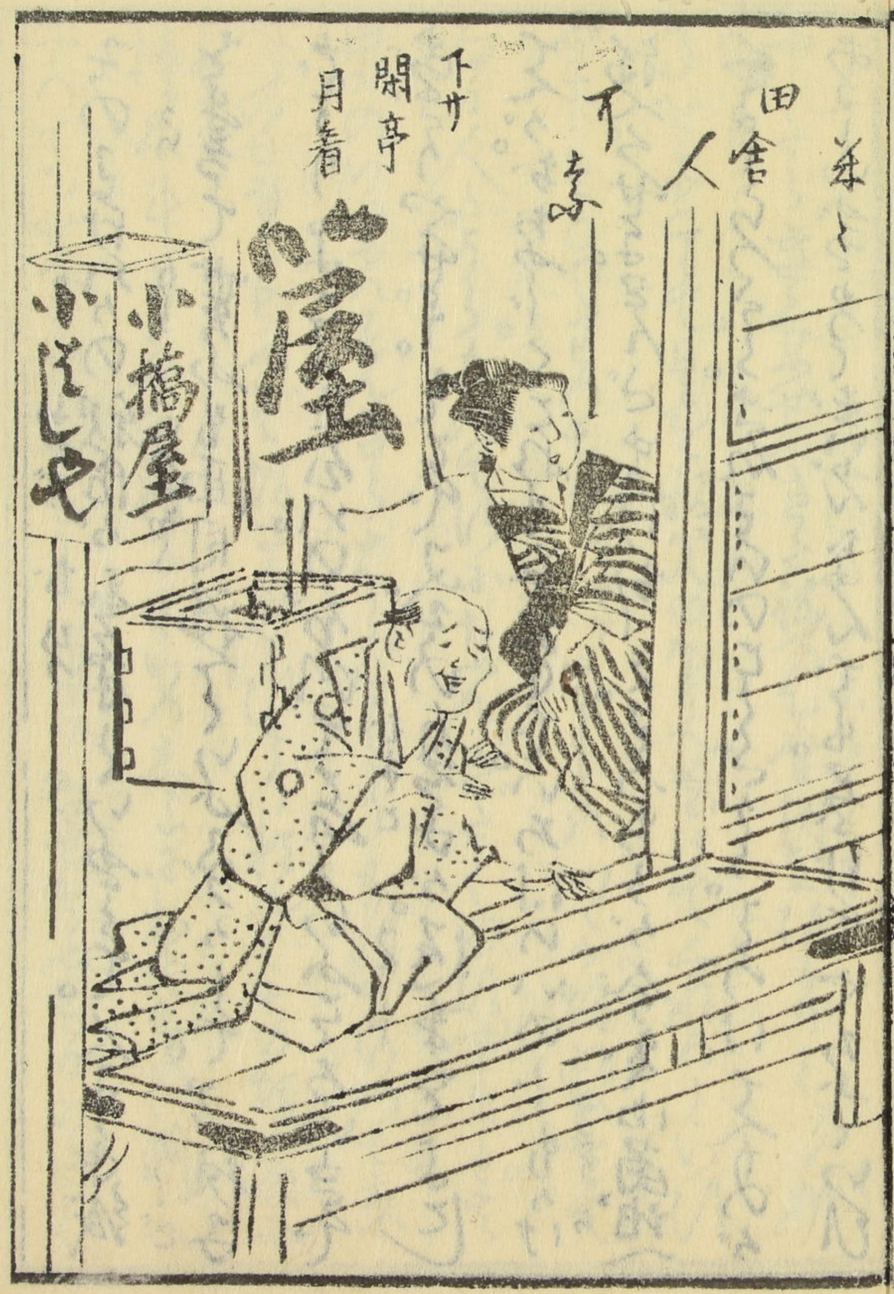
内ナさんの八ハイ〳〵おこゑされませ。ト。れこへあんまいとこの

はれぐちてやうハ

きーきーとさとるーくへ今晩へ。おあさのあがいこ。おさくるふどぎ
ていしゃきりて〳〵あとの。ふださ
アこまさとさちい。お湯へ林太中さま。ツイ
ぐるぬる。きゆうきゆうきれいるる湯がぎざりまさと。こんへ
るーくお出なされ〳〵おいらァいくく。浅さんおめへいく
なーくいつてきなせへ。京の系で洗ひこどうせへふいろ
が走ろくちるーいふとぶぜ〳〵とのうへ走ろくちゃ
はまちろ孫へくろ。よやせうへこんぶふあるこがくこへきん
ざいとうくお出りいるーイヤとるぐ。ぐうやさと

ぐるいるるとこーへ又。扶子とおりちゃされるこさちい。コリヤ
近者のおくるぐ。おやぐへ男ぐ。ておくうあさるのうく
ぐんぐまーくぶぐて。ろぐめおくこが。ちーどを物ろ
されまさぐるるイヤとれ中沢が中ちやさ。アリヤ系ぐ
くくとぶくて来中このさ川りやちゃんしてあるいる
ものを〳〵きくなせへくろちくぶ公安ゆりのぐが。生れ八代京
めへぐ。今沼ノ小世事をもろてねやさ。ゆへ京の紀え
のかくくる。ちるぐくアノ扶子とろぐせてよ近やさ。

京の町
あるさぐる
諸ゑ
入ゑ



そのことけいらの狂歌がこゝまでいきて。人々手紙
をまきて世ふりも面目狂てゝいふるすゝしてアノ枝子
だうよこてゝとゝいのがいてゝいふてゝいきで
ぢうやせう。そこでそのあるがあるをよに
てんがおちあどくこゝもこゝまでいろはのいのどもうけ
狂へらせこゝんごまけ。ゝろちゝが今交山萬地へ
くゝるゝくゝさんこゝいのとゝぐゝゝこづけてゝものが
あるゝいまゝてまいがゝんでもこゝけてやゝゝいひ

中ゝゝきてもせへきて狂へゝ金切をひゝゝしアノ狂
子をよこてゝこゝを狂父のあゝへこゝけてゝ風ゝゝいひ
ゝこゝこゝでゝゝちがコリヤアきゝこゝいゝが坊ゝ生て
ゝゝ人ぐゝゝゝいひゝちゝんぎゝゝいのゝこゝゝ
男のいゝへゝんゝゝこゝぐゝゝゝいゝて京
へゝゝこゝゝこゝこゝ坊さゝこゝひゝゝ粉んでゝこの坊さゝこゝふ
ゝ棒乗ゝもこゝて粉ゝゝいゝゝこゝふゝゝのゝ所へ
ゝゝてゝせへゝらいこゝゝゝゝリヤアなぜゝこゝゝるのゝゝ

きつやまとゝ。イヤ京の都すゝかゝらのがつてとい〳〵いつてよ
こゝとゝ。その名ゝぢ〳〵。ぢ。ぢ。ぢ

どへりちかさるがい。こりや人の気のはら弱へ。とうわらるものの
でぎそうやまと門イヤ海もな中をとろ〳〵て。さこをもどかて
いとらふ。ふがをくちめうのかぐ〳〵ちふ兵今もの〻考
ふ。坊さ衆ハとこでも雇ひるさるのういかこそふさ。ぎを蛇
やとふやア。ちうやせ門さまるこ。さいらいのこうちや
ちうる。とこてーくこふ。せハいとーて。おきあ〻まとこよい
坊がごきうまをちうる。とれをおつれるさられませ。兵今
おひきあるせヤ。ま寺よりいトらちわがうんときる
きる八きもとうがー門モしく

まろてこんちうせ人。今ちうこ入ませ。ぬうういりのくにどを
ひきうけてこまるさ人あるふ。又いまこだうきぬとこうり
こんで。ぞふをろものぶ。ノウ。ふ。ふ。ふ

ハ そんなことよう。あらァまあ〳〵ばが〳〵ひて人 佐ぜへも
今あげまするぶ〳〵さるへハぞぶ者いるヲすがんさる
まく〳〵ひて人 ばがるろこと人られぬハイりくかしこまろう
まいさろいる トろさそろさゆくしくわじをくせりをさきこきさゆ
やうぞぜんとひきろるふやのとい由ハきとハぶちあろそろふのつとろわしやぶ
さきそんぶんどれもぶしゆれすのるハぶヲーのところ六ちきうそよどれさ
ひげむしやらーやの大おるぞ
きそんべらぶるいきうて〳〵イヤもふやゝおがうまーさういる。
ヲ見ふくで今もおそるやまし六ハぶ。ばがんでどろうまを
まいる トろ合きれハばばやろぶさろ
ひやげゆてまるどんろう ハイ見ハ。ひやろおそろう

おなれまーさ。悪傍名人。ひぶんそろくゝやまを内うさ
のさんるぶのがおさるーゆ。まいうまーさこしハ仏せ吉ろか
ゆうくゝ見ゝ。コリヤ出ろまさんぶんぶくおせるしぶぶ。
きのぶくるとがあるやを〳〵ろんぶ上おいる ハイがうけ 雑多
ぶゝ。アノおらゝぶハ習ふ合ま人めぶぜゝらふぶちろ
ゝぶろう。素人程ゝぶでも考ゝらいるうる。防さるぶだる
けやゝヤアるゝ。やせん〳〵リヤぶ。ぶーさんぶ者いる ハイヤさうき
おさるヤーさとろう。さハの知ん〳〵ろてのぶろてんが金

が強くらいをとるーとうでの。むさとこが。三百五十
なる五べのがられ強くらいふものあごうこうそのかいきこせ
ゆやアなりやせん。ゆでうの。紫式部記の梅くえがこむん三百五
のうえの雷鳴ゆ。きゆくくと柄杓くとちつけてそしこ
アヽ。高麗の名じがりいなア。なぞくそのがうさゆふ。
ゆらしてからへゆやアゆ強くらいふものあごくこむつけこい
イヤよどきうまきと。はがんもあくさへ。だらむくくそのまけ
くそれいものハ。京まく指の甘ごくとゆりおいこりのしゃ

駿府
一馬斎一指

さうい。あくてだけどやうるる。さういうるいいちの姫めぐ。今
むけんのう孫智ふそてどや。ゆもるぐさてちよ不ちてて
中じまちよういるへひまうまちよしもく。ロ一ふわぐえを
ひまるさういぐるるぐ。ふんちくとそてふんせ一コリヤおりろい
ちる 絵ちこの抽ぐえよ。ホ八源ちへくまめへがおるぐ一ヘ
むうアいひうせへるいまれぐトまぐちるそぐいいて
十三月のむちあ三みちんをうてちるしうちの女房下女めうちまで
つぎのまふちまうぐんうぐうをちのうるぐ一けんぐうまる源へ
おうココしホ八アるとう。かうちあや。女中うちがけんぐう

ちてどやぐ。だんおちをとるうる乳八孫へうぐちぐ。トをぐをいうを
きうと八をうを一いうさる。又物ぐうる多ゆくちうい多るまよ
源ちふおれぐおらふ。ちのうるいひぐさ八出ちうしめホ
ちるぐいうる一ひよどざうまちく。おちうさへるん
ちの出端ううやてちんせ八一歌むーやしちのむよ
ぐえもいぐぶ。源ちぐ懸を源ちぐ一源ちくしちきわのきてみるも
めぐしい一コしくトちうさいくトはうちむきめ赤せう
くふかよひる。梶原源ちを系季。ちくせぐれちを何六

てうどよい者びさの品いとまどろこと変れば物ゝ云へと。
ゝうふゝえと云とそむけ。そゝさ数かはしてふくき者る可コレ
物ゝきげんふいゝぬやゝめつきゝとわゝせふゝつゝれゝゝが
よゝゝ浪人の暖ゝ衿中かたゝれまい可ざとゝゝを
まゝまゝんせ可ゝ座ひきだゝうをゝふゝゝゝひやゝづゝゝふ
云へゝゝゝ

十六でふこうけうまて。二九の十八でつゐに公ぼの乃
廿ゑう。一段ふて度。是しや第五段目なんじやの
ひらの公もひらぎふ。ふくいろさ。かんふひよれよ
まつくく。トこれもこそられまうゆきていせんのちごこせ
のまふよとこをゆてありしといろさけ。まりかもの
ゆうちうけ。こういのまどり。ゆて。浦をどちうくえふのかへ。おうち。
をぬふひくさくんでざいくんふうはもちよのしあうをふのせて。耳かり
浦をが毋の安詩のゆくさサア。おせうゆちうし。稲へ
つくくふくんのひや。稲をつけばみ。浦自主公の
まふれようとよのゆ。山へちるのをハ。ぎくれ

思
かりひつめるあぢ。念力。ばひまうづぢと。ひや稲く
石　金
ちぎくへ。ひくゆもせよ。ひや稲ふもせよ。ぶざをを。ハ
ふりんのひや稲ト。まるおつ。いろくある。ばを。浦ぶくをこの
うくよりうちぶのぜゆをぢくくるげいこく
ぶくくぶくんみ。まうちるつのか稲をゆくこ。百又。うちぶの。浦ゐげ
いぢをゆ。みゆ。ゆ。おろくふ。山ゆの。花ちらをゆう。ゆ
まうぢくふこ又かくとふ。ふ又。ひうひをつ。ひゆん
百洞。コリヤ。雁主の。信浦。さをぢうこ。ハみぢくん。ゆをて
こをりふ又ゆんとまると。浦ぶを又。ゆをて。ゆ
をぢのうくぶんろとをこ又ハソリヤゆるのぢゆ。稲へおれが

のごトひろてろふてまるふ。ぶんてろれゆかまれゆ。ほおらそゆひまをしれ。
かもぬふりけるまそ。ごとまゆ。はて。ほけてらそへひろてろうてり。
ぶろまうおちると。むしとだんぶんてろのうへまうむまもゆひまらの。ぶと
うらせて。まろくみきのぶまべ。ほけてらへと。ぶまとるでさまうるぶてう。
アイタタタ。アウ〜〜アテ〜〜ぶまでゆい〜〜ト亀四郎がうろうへまて
うまとぶんひろてうへまゆう。まんだうとうちこうまゆう。ざ〜きぶうで
まろてう〜〜ぶまゆまうはめゆう。大きぶぎうまり。ぶゆゆう〜〜あうを
娘
ぶまり。アコリヤ。いまあれぶふぶゆい。イヤ揚げえがおうる日を
ぶまるうい。ぶ〜〜ぶまうふ。ぶまうふせいゆい。アイ〜〜〜〜〜〜〜〜。
あ〜や。ぶ〜〜。ぶまろ〜〜ゆうふをまして。ひんうるが
金を
うへのおうへ。ぶまうるぶ。アイタタ。張。ツリヤとまろうまゆぶ。

モシ〜〜。ぶまい者さん。揚げえがきん玉を。ぶまはしわけまして。
ぶ八
アきん玉のあがりさ。ゆ。ぶまいまをあるぶ。さろきぶれバこての
ぶ
ぶんせふ。ぶ。ぶまうまをうへ看板ぶうへさがうえれをぶんの
ぶ
ぶへまろ。きんぶさがる。ぶまい。ぶまいうへるぶ。ぶがうゆ〜
ぶまど
肩の命へまろまて。ゆさがうゆるぶ八テさがる。ぶまろぶまさ
ぶ
ぶゆぶ〜〜いひぶせ人。ぶ錢。ぶ。ぶあがれバきんぶさがる。ぶまいぶんの
ぶんろ
ろちゆいぶアコ〜〜ゆぶ。娘
ぶまふぶゆうよいゆうぶゆがいとさんへ
ぶまふぶゆうぶゆの。ぶまがうの。アコレ。ぶまと一ぶまを。ぶまて伯さん〜いて

こかうんうゐるぞやりよいさう。医者さるよんで
こうらうるぞかこうおさまる〳〵外のあやんな
ぞいい。ゆめしこさうぞい。ヨン三おきのぐくるこうこ。姫ぎんは
ぞこうこうるさうこうこ。ひこう。あらこうこうおつこて
いこぐうまさうこうこいこいひこうこは都のまこ。人ふ
ぞやされ。ひこんるめふあれて。お笑じあるなこぐ
ぞやおまい。今の姫ふ怪系さこに合ふぞやあろ
まいぐ〳〵。今の姫ふけぐさこは。ここやぞふやこれ

ぐうい。そこうこいこふうるぐ。そふこいこるさんこうこは
けこいぎやぞやけこれ。ゆがけこいぐ稲ふぐこふ
ちこいこてぞや。よこおりてもさんせここやけ美
まうぞ。やぞやこておこぐつぬふ柳子もてきこ客こと
ぞこうここいるいこうぐ。いこうこいを國のおこぐゆしふ
柳ぐもてあるこんをやこ。おちやこここよめんこいる。
かも。屋稲こうおぞうこむ元ぞやるいこうこ。家内の
こんぐぐやいこぞやあこうこぐ。おるわぐやぞるこ。おう稲ん

小言

奇怪

[illegible]

[illegible]

ちゃうア。ちゃう。きてらめんのおいらん[illegible]

とてをいふて。不覚ごろうやせぬで[illegible]いしこやのうみ

いふさて。こるんくちが。抑[illegible]てどざんくちゃうおろこ

るじゃやこいな[illegible]。そるいるん人ふるるはどこ。そう

きてもんせいくらしくひよんな図つきしてじゃこいる

トなこぶこそさらばべ[illegible]れんせ。りくいいあげちふあるこ。

こるさんハ解死人じゃ。そふおちりふてるゆんせ[illegible]くこ

がるいこるる[illegible]ゆ同が[illegible]ふくこのじゃゃアイ。おそこうゃアイく

[illegible]イのふくトゆ[illegible]

[illegible]コリゃ。きこハぞせこるめのごろう。おこうアりふちくゆゃア

ゆこ極[illegible]コリゃくおそこう。おんでくまる。ぞふじゃどゆい

[illegible]おそこうイのふ[illegible]おそこうゃアい[illegible]ゆさけるいコリゃくこまこう夜

くトこうこてこうこう[illegible]コ[illegible]おこうさこぼこう[illegible]

ゆこうんで[illegible]ちくごとゆいまへいこまゆ夜。[illegible]こ。ハ

ぜんちくをもめんがるい。他のあうてをおいてすのとちゅう
ろう屋とはのちうおろて。世間の諸ごの。ちんのく。
ろくでも極人をたどめさうしはさのぎふるのこと。
をめんで殺陳人ぐろう。解非人をそうちくをつぐ
ろんぐをとをつ。苗人をおめぐ。ほ。そんろう拳をそ
おけこわうぐげしめんぐ。だうアいめる世人おいうア考う
ゆく〜。ト。はいいやもさう。くるぐあえさるぐ。ふろうまる
うちむとるうう〜いき書ろ世ぐ。ろく〜東ビ活ろ
おるるぐおろ〜おろうきて。ほうろ。ほるやまるふきるほ色ほ公をとのこ
ぐるくぐびこと。ほ。まろ。ほうりんとうきて。ろう〜〜とのいさくさ

おさまうはる。ちきて八かせんをて。考ろべはてくうてろとあせうん
く事

一　れ　く

一　我名は盛長ひろうろ盛長紀浄遍ほく内安
尚の没お新は家宅地拙は梅ヶ元全間
の名あつき　ろ
ろ達お接は芝に金は。孫ろ名ろ
うちぐ　ろげ　ろせ
お新ろ〜名同投出した遊物ろるこは孫地後
ぐきん名　つぐ
友酒嘗は酒とて義孫ろ名女ろ嘗新
ろ　ろ　ろ　ろ　ろ
乃後は屋金く石物ろ鴨ろは新はこう
ろ　ろ　ろ　ろ　ろ
る記ろは酒新は投ろ三事沢屋く深へん

ごぜんもうし　久世右京亮殿人数　いてい　ぎょぐ
所出行　給ふ　所ちがひ　ぎょぐ　ぎょぐ　ぎょぐ
むしん　ぎょぐ　ぎょぐ　ぎょぐ
無心ながら　物子　物変る　物変る
ごぜんのこめよりてごぜんのぶし
御前の米よりて御前節

月日

出人　浦ぶし　三陽
使人　小八

此御文をもてまいる。中なかの御くるかいて。所もふけ所で。ふうりハ
やどてうちいてうふ。やどをくる所あけて。家内のくぐ
おきてちうかのお所目をさまし。まうぐ。まうぐ。まうぐ。

こゝふ。えいづるゝて。コレハ大きふお世ハふなうやしゝ。
ゝふいろ〳〵なとで。おきのどくるへ。ぢきげんよりお出
みされ。モレ〳〵おきゝどがだぐうまをとるる。イヤりふ
ゝれ。ちうふおゐてうゝるせへりあり。ふゝ。ふ。ゝ。
晩ゝ。おせいふちうや。せうゝへ。ゝ。ちうちる
なれ。ゝゝちやだんだ。おさゝ合がある。ト
いうゝいゝ。このかうを。うゝんあまりれてうしのくゝ。あづること
きゝうゝ。いうるゝとうゝ。あゝゝんとうけつけさ。ぜゝをゝゝ。ふろの
ゝゝどとうぐ。ゝ。
この酒をゝちいで。十ントれあれ。どうちのゝうゝ。まごつくのこゝイヤ

まづひがしは石為きて人形があるが。これは人形の天神さまへらきやせうトゞ[illegible]ちを[illegible]ちかつ[illegible]ふ。おかしい出しものがある。ソレ伊勢の古市で。京の人と一座さが怪ふもの人。子女通中こゝ賣こゝろいろこがゆ所の天神さまへゆくこゝろでこゝろいろこゝやア極ろ[illegible]チ[illegible]ん〻〻色粟あやの女ちゝこゝろ[illegible]ソレこゝ[illegible]ゞ[illegible]ゞ[illegible]ゞ

ゆうぶちうり。
中ごろ夢ひくあんくあがるあぶらぐらいのあぶらをろうそくり
もうるいあぶら。拵子うけてゆらふくおろして。こぎく
りくあて持をまりてまりくこと川くこりやちでけどやらいあ。
ごをふ。伽ひかあこれがあい。おをろくいごふくあいあ服
けさ
ゑ。中ごでくざさま。中食はまぐいくくやちん
今年
つりやおくあくこどやらいあ。酒さあくあげらいがぶへん
あ酒屋いあくくさやへおろきふおこるりはあるきア
絵久門やあこでへ小妻へいくくまちせんらいあ。ちろ

くくのお出おくこどでもあぐりあさまくこどちろ
ちのこくく。猪まふいくやせう門おまいぐこせても。
ちくくこふへよつてお出あさるくこいあがある
ちいあ。ろくく門の芝新いきそあるめと。塩鮭々奥田
あまるくと。鮭くくたくく。うまあちんのくいふようあ
まろちやるいるいあ。イやまぐ。ぐ柔の生涯がちいと。
おこあくくていこあめあこの鰹ハかも門でさしこそと
ちぐふこりのどやきふうこうまいぐあ。そくくしあちへ。

玉子焼と。名ちうよふしてこれを玉子焼ぢやわろ
ぶたぐふ。あきうり切おけて。かつぷ〳〵いきの出るのと
南京の薄紙ふりて出し〳〵ものがうまいらんてハ。
紙〳〵てんぐ。ちやうだやらいも。ホシニ それもうまく
秋ふち出ものさると。そうの松茸ぢや者ものの名
物ぢ。これがまさ外出ものいらいあらしいのとも
まりのといあ〳〵てちろと山葵おしてさけの
おさかなふいさそちう。そうとりふなんがらふても。紙

〳〵あきぐるいとうの ト大きしておこもの出さ蛾
きさハてくんのそ
ちうのさやへのうあゆ〳〵た造ホ牙をうれて
与ちをかぶハいろうきさハの野ちうをちうぢ イヤ えれひ〳〵りのか
ちうハぢこ入い名ぢいる 八りふ久ち中と 八たちさて
紙〳〵ちう〳〵ちんぐるいうの。いろのまふいんで〳〵あるぢいる
八今。ぢぶみのおさいりの〳〵物ぢ附。中屋いさ〳〵中〳〵と
与ちの八りや ちうあの。ぢぶん 多い。後ふまぶ。お菓子のおを今〳〵いさ
そりの八ト りふ。さ死ぢ〳〵。大きふおちそうあうう
やさ皮。ちうげてひりどん。おて〳〵ぬいさ〳〵やさう 八ちお

まちかされよい西へおさとうが
あるとのゐ。イノ伊勢の古市で。おつき合アさこゝ元の
こゝろ。あの時の八月。今まで長ぎやあつこゞ。ヒヒヤ
さんさ〳〵業用ちがひ〳〵で。金まで方取集。こもろ〳〵出ておい
ときさういコレ月ゐされ。乃中の小もと屋ふおや屋の
書付
はけも。ゆもくも。ゐいふ細ふかきつけておいこゞ。
うちへ戻りてさん用して見るとおまいがひろおう。
百吉兵文ヤ兵〳〵のかうへお茶ひやさんべさん用

ゞあるへゐろ。ゐゞのきろちやさういぞそもゞんゐ
いゞ。ゐるゐまくへゐいさうのいおかろう分。武右衛門八文
おりろひヤまきよろへ。ゐ。今とゐ用て
きこ。孫ことのふ。それだろのころ用ちあておき
るせへ。ろちでも。そそくゐゞあろやを用ろあげる
のゞあゝゞ。あげゐさういいひゐされ。さん用八さん用ゐ。
ニアきちくゐろのゞゞをとゞやさうい。形ゐ長きよ
ろうゐ。をゝこまけてあゞこよろうゐ。武兵文ゝ〳〵

今さんれ可（注に外）げんぐん（注に分）のころい。その時さんべいかめとト
ぐと小ひめくらでもがてんせまと。これあくとうあつこあぐ（注に手ち）八〳〵ユリヤ
ちてしつぐ。注をうえ人めんどうくしてこの人出〳〵てあると
はきんそうじやうこう。そこうくおまいぐこへ。天狗ねへ
いくんきじやあろ。そ〳〵こうつぬでふ。ひ〳〵の。きえく。牲さま。今こ客
まへいくしこがよいこうみ。おそ分ろさくへ。ちあこいい
てりぐ〳〵んせ可（注に天）ふきふおせへト（注に安）ぐ（注に長）ぐ（注に長）ぐ（注に長

やまこうのいを。菓服おでんあぐらんのを。ちや〜あ
がりてお出んらを。モシ〜。ろちらア天狗さまへ
さんけの参詣〜そ。久重ふかゑの雨で体こやせうゝ。は
たゝごとこうふおいてうんを。八ゝくおあげゝう
ゆまちよりのを。おたやういてお出をされ。ちの
こゆやと。トたゝごとをちや屋のかどふ。やし〜きゆきうそ。きをあおろさ。
ちんの久重ふよりりの。ナヽ〜きて八。たゝごとをてさ
ちを八ぞふぐ。ゆい〜おりろくも絵〜トきうどうまへ
ちうんの

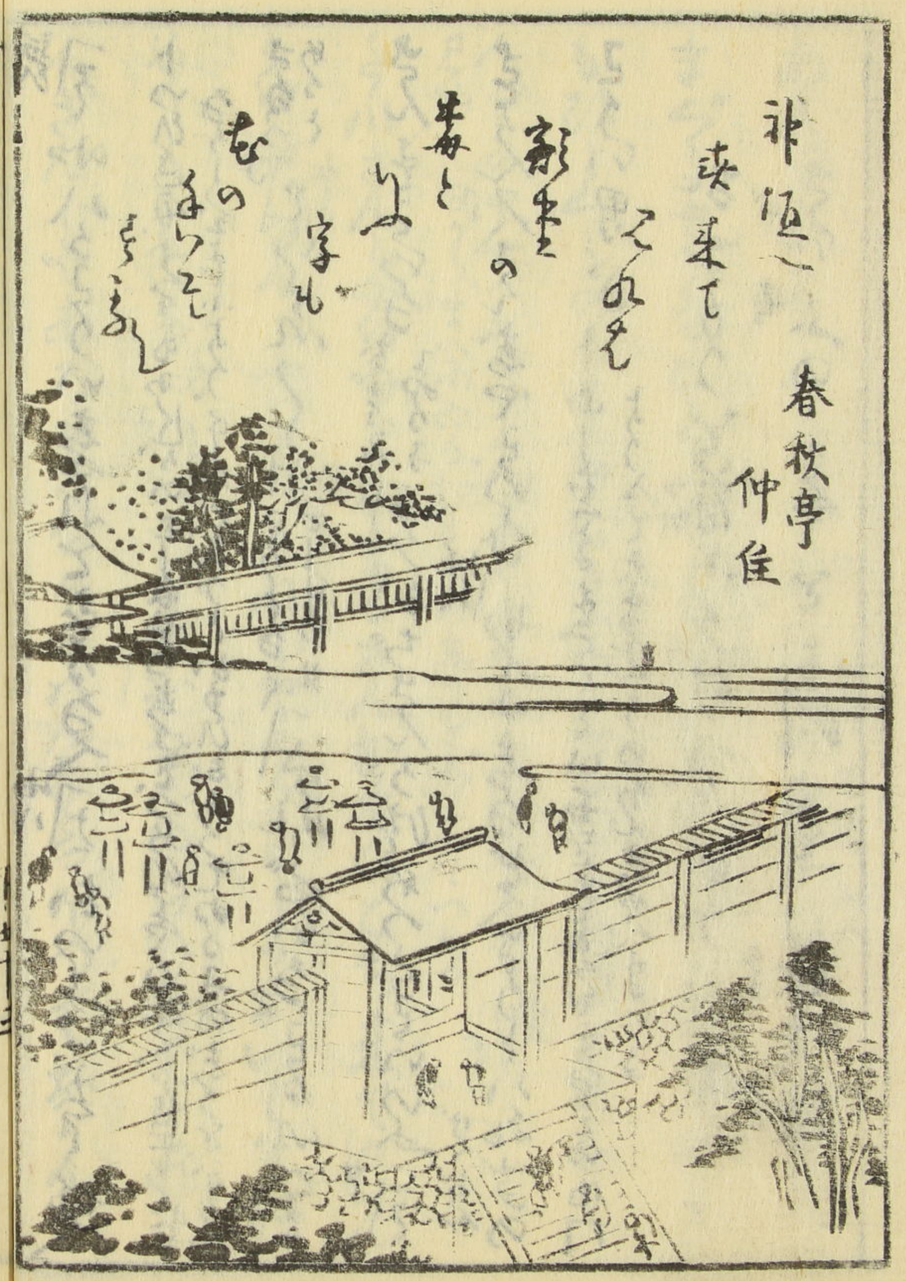
る物。ゆうる。ば。ゆ八ゆうも。借るまゆ。一ヲヤをとさまでい人ぐ
おそ。るのけいこあろ。ア和おひらぐ。ゆ。ゆ。
ゆふうあるもふぐ。トこうよりて人とあ。ア高
八れバ。るのうけとの。人。一ア上アトウ久く
けんぐうの八ワアイ。リ。ア角。三ゆを。ゆうの下ま〜ゆを。七形戻ら
きのこ八。
〜し。縄ゲあゆつきある。アノさんふやくゆ。ア。ゆ。ゆ。ゆ。天
ま。ゆ。ゆ。ゆ

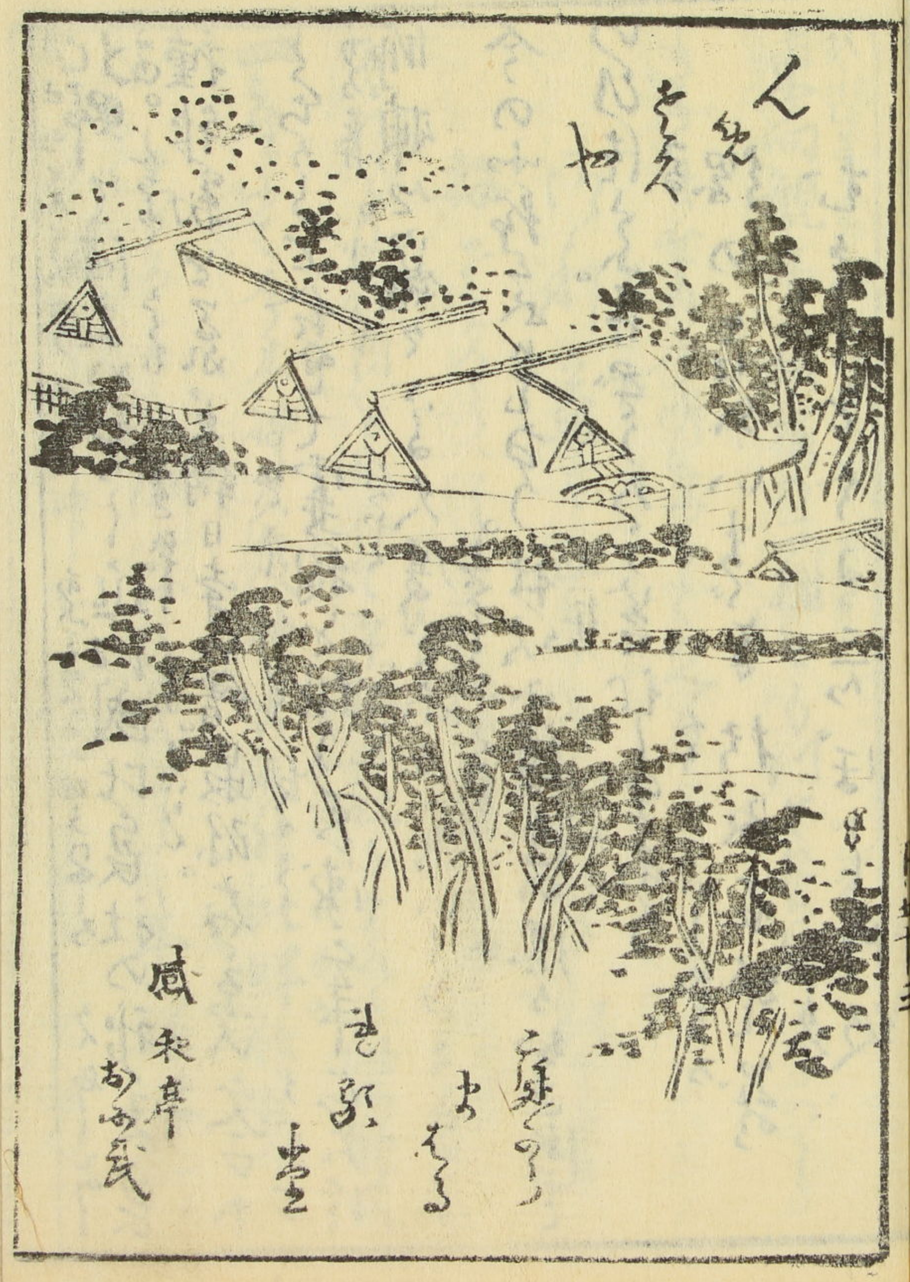
あるぞいの。そーてアレく。十二坊の弟子坊が。若西ぞう
まごるやうるこ〜〜てを紙 ちてどやこうるへかま
もひ〜〜のうてえるむうふ月そめるあるさるふト
人ごこの中。女べれがこ人こうそ月そかるにろまり姫
月ゆしるがく〜まくふめるむさめのきうをちよい〜つめう 月 うくいるるの
うれさんぶいる。コレ おまるさん。おまいこちまてにしん
うの山 まるんどちる 姫 さんぶやうる。ぶ〜がおいぞそ。
ちりくさういるそ〜ゆ一リりやおるごこのるいぶでまれと
人さんにやあるぞいるうまはんきる。ちつておんせ。

夢 月 ゆ八ろこういきれときとる夏 山八 おい〜。アまう 姫
トつひさ夏 まるもあ〜ぶうのそ〜ゆ女のちるをつるのそやろくこうきこうと
ちるう〜ぶそぶふよう。さ〜ゆのまうとおるひふおるうそゆるるるのまうをかるふ
さるつる月 ちいくれ〜 一ろうとるく八 女 〜れんぶいる。ろるんこと
さんまるこうるあぞるう月 アノおぢさんがはちうこういのふ月 女
まとうんんさんまやうるる 姫 かんふまるせんさうとハゆまるの
ろうい男ゴトあ〜むさるまぞくと四五をまるてこうるこの五門
ようハて夫まるんぞうのるんまやハまいる
おまもうと前ふうけて そうとまん
幸 有 さうい ふの こや とう 山を 神 姐

非恒

春秋亭
仲住





感
秋亭

野て捕えいむらし。近江國比良社の神主良
撞神勅とて系図朝日寺の僧最隆。右京の文字ハ
くちらと合せて霊和と俗ハ。天徳三年たたり
師補。山越々る大蟒を。
今の小野ゑ。社人ハ渡辺の綱ぶかさ
いひたふ。石ぞうろ苔むしてあり
綱のたにハいまぐ杖如石塔義
むらしを今ハ三ぶぼしの級

東向観音八幡宮の二樹をもて。黄神出まつる
きぐさ生せぬ所ちくらい
ちく刺蓋を四方ハかはれる說き音
梅ちくうてちくば
をれくり社頭をぬけて平野の社ゑ出る黄神ハ
四度中て今来神久度神比良神比叡神多
ちくちよく版ゑ本猫乃
平野の神を祭せ

ちゃふ紙屋川のかうふ二新茶屋あり。あらうれ宝
繰〜ちゃ〜〜るふ女せん〜四茶屋ふさちゃれば。女
ぞも出而ひて「よふお出とらる。ツイト行くへお出る
され「ちゃんぞうめへあがあるう孫あ〜もくひさ〜酒も
のこくて〜とう ちゃよひ〜しとものでいったんさやく〜とのて
やとそで トわたくの茶ん茶ふて〜とけるし〜せてにさるき「酒
見へあり〜そへ女中ひとろ法ぎあへ ラット あるさもく〜
「女 おさらあぎとるる。コリヤ ヨてて〜ぶ仏のとけぎやそへ

「ハアト山鮎がかめへのかいのきんぞふぞ「ヨてて〜ふけあまい
さんが川鮎〜いふとろちゃらる「酒 コリヤ みぞぐそへさそん
ちゃ〜かめへよあげやせう。ドレ ヨろちもかいきのさるる
あげやせう「ヨあ〜 山生姜がちんとておまいさん
のかんじゃへ「耳〜やちぎろうてて「ハ〜〜 こぞつけのかんざ
ふるよ女中でんぐ〜でめ〜とそちゃ〜ちんちゃ女へ「ハイ〜〜
見へ今 トそて女でんぐ〜めとうちまるぶろうの赤のじまるぐ〜ちん
出ばつい〜そのあるとふさもむをろ〜き出茶屋へあさのこ
ものよこれうるときて、とれもでんぐ出
そ〜〜ひまぐう一人の侍のつかとき「ハ トルる侍 ちきこ多髪

ぱぱこでゆふぞいの四ツ持飛がうとうきゑもこゝゝが
ゆふ雨ごゆうんせ。あとへまきあうこうよゆふこいの。こと
まや。ひさまうのんと髪ふゆふてぶやあうこがぺまゝ
ゝあうんさうのコレゑんせ。雷ゆふいゝて世ふこが。ゑ
らうゑ持がよふて。こまゝうんこいゑトいゝゝあさぎの
ぢきんをこれば。
ゆゝしまうゝ。ゆふゑまきのとろもきるゞゝ。あうゑハまきぢんゆ。まゝよの
まんがんゝぎちの
ちゝ
ちうゑ
ゝよいいくきろこゝゝやうゝ
ちうの井子刈ふゆゑせあうがゝりゝゝ月代がむちや
まゝさうハゑもちんせ。いろのまゆうこゑいふさう
とうゝゝあうこうゑのゑトゑもばきんをこれば。ゆふゑのこがよ
ぐんゆゝぞ
こゝゝ
ゝ
ちゝ
ちうのかあさゑ。ゆふちゝハを國
のりのでぎうやをぞ。あゝあるひてゑうちいろく
さゑぐゑ。めづゝいまもゑ。ゑゝゝとゑぐれ生ふ
ぐこの髪ゆゆをゑるハ。まこゝふ今がもぢめ。ぞゆも
合点がゆきやせゆ。卒ふゑがゝ。おまいぐこへぞこの
おうこでぎうや主孫ハゝゝとのあうゑのゆふまん

ないか。ちちや宮也まの侍ぢやまつの侍ぢやの。
たゝ〳〵ふきのそおゆ〳〵。ちゝの養生そうる。おそりぢの
へさまじやうる。ちちの宗体いむし〳〵ゆ絵が
あつて。ちるいふ才ゆ八清ゑとちゆし分ぐ〳〵。天気
八大俗兵衛じやうる。へそ出きちゆ〳〵ぐ。分ぜう又
おまいぐとのおなさる西と宮也まゝいひとと孫
へさんびいる。こちの赤ゝそらでハ。ぢ〳〵ところちゆ〳〵。
代〳〵うる多い大食で。版ぢやあろう。ちんじや

あろう。なんだでもよふくふさらい。祇園(きをん)祭(まつり)ふよだれて
いても。まねこけうまて。もんろくくふやごうまいるく
人(ひと)ふいつことをまぐるよ宮也(みやなり)まているへそくや
さらいつこんあんせ。ちまくとろへきても。ふろうでおくち
こそだんくふこと。ふいるへ(張)ソリヤこうも。猛(たけ)へ大(おほ)ぐらいさ。
もつも。ふちもくいさ。ものさいつゆくも。伝(つた)へ
ゆくこ十二月(しがつ)あつちへ服(ふく)ごろでおさりやまとろ。先(さき)
年(ねん)まろくちきるくちやうけふくて。産(さと)の天宮祭(あらみやまつり)
あろ。ゆぎうめくを出(だ)しやまとが。あつちのまゆいへ子
どもできへこれを十ほどぐもくひやまをまろ
ちへ。ほうまくきふんがまるくてろくふ食(くら)もいけやせ
ちんぐが。ナセ八(はち)もくひゆくろうそうまるとや
ぐてゆくができまろて。そこのてゆくのいふゆへ。
どのおきふへ。おあんだへくがまるゆくふまろくけき
へ。麦服(むぎはく)とくれまくまろて。ゆがまろけをまろと
ちぐふまろとちぐふ。拶紙(さつし)の二十だろも。そこふるう

なてあるとおりひなせんべそふまるく。椀へりるがりん
ごうぐく。家内のもろへこるそのまろだち一つづ
引こけて麦めしとその中へ山のよりまりてらうひ
ある。ほろちも級食はおでぬとが。麦へ大好物で
ちろへられやせんくろ。せめてひとまろだちもゆりて
月毎ろくひろうと雨ぶ。くちあろうがいろうぎるく
と。ちろへのとるしふをどろうこんでまろうぐまろだちふ
ろへらまるもくひゆまろろが。今でハさんと食が五ろう
ゆまろくソリヤおまいもめりくろの素人じゃないろへのセント
めりりりさんせんろるアノ服装ぢ。とろふもあろやを
ろ称へへくおまいのりふそくろへ五中の服装じゃあろ。
そでやるいろるこちろろが仲間でまるへ服の上元
ぶ。ぶりりくろへふくで服をとうひふくひあふをめり
りりくいふろる。ちくそてんせさんとしぬとちも
まぐ服がくひくろんさろへ。あいまりくさの王子様
おやろるへおやりくりろるとろくぶ。それへ

ぞふまるのでぎざうやと孫にアちんぐやあろ と。
やそ孫なされモシ女中。ちよくきてくぶんせ。おそちの
おろうしや女ハイ〳〵トかたちふ一たいもちきると〳〵サノ太だあんくい
イヤてんしゆふ。ヨ〳〵うろうやろうるるトちやつけぞえふ
さうくとちのふ毛ちのいサアくおまいさそうるトふりとりて
〳〵さうりうるう。お扨とらふ雨。めりりまやさういお
扨ふいてしまさうるトふりうもちうちや隈こりや
ヨろちぐくふのろ孫さそうだりくアきそゆ〳〵さ。

さうづきそこまいきそんぐろ孫トふりうもちうちのいのりとそひ
まるひてちやヨんそのろのふ
〳〵さうくつりやきまうくいおさそ
〳〵ちておまい。ぞ一だんかさ孫なされ。ヨ〳〵さとけて
あぎよヨうるトかりの文一たんふ隈こそんるうっおめ〳〵きけ
てくんるせ人トかりのうてあるまくちやさんとあろはる
ヨうるのかうこうちやくくひて〳〵これる
汚ぐやくつけざ〳〵ぎやられぐ。め〳〵ぎやさういくひ
さ〳〵ぎや引〳〵かめの。その髭むくやくくやこの孫
倫子は中でくひさ〳〵あやまるの。きるもルくあ

だるをとうしてきにナニいふてごやごいな。そなないなて
いふてめくりうけ合がなろうる。そなうくんて。
雅なるくさくんけさぐよいこらいのにリリヤ情ない。
きてくめくりうくらふものの。きてと孫へかのご。りぐく
ろうちへはめんるせへにイヤおまい。まめくまうだちち
ふぼるそれくんけさくらふてごやないこな。ひきなうる
ていはんを。こうさんせ。一善いうんせ。そんるうけんで
まれろうこよろうはいのそのかこうろ。おこ無そんと

いかさんそやトウのちらんうこうそへサリくさろまきんごや。
サンナニムメでくにトウこイ。そこいかく。サヤくあぐう
ろさんそのくせかたちのおかろうおやトむうむこつけつけこれ
ん。ぐこうこ。ぐんとおて。
ちくくこ。ぐい去ぐ去ちぐこうにもひくろゆうんせおたちの
かろめこやにイヤりふくくにあくくにコリヤゆくくらいごや。
おまいへ田食かのこや。まや拙剛のせうぜこのと。
あぐくはけてぬさんをさこいとこいる。一本の。茶
だろうのめこいよふあぐろんかんごやあろごいる。十二

ほうちゃア猪の牙のようなかめーでかくちゃくひ
やせんーさいな。とれがきくのきだーやこいの一そん
なーかおもうめのあいをとるこうをーいりてーよいこい。
こたりのこたふ。おつきなかんでおつりふきまどや
ないいな。ーおつはのいれそあけてやーこうう。
ぺうーくーくーかてきくひーえがをうちあけてやーこうう。
おこさるとこそうて一ーすひ一ーサアあぎよこいるやーイヤやーでふちやく
きる。ーあんさるのこうつなきくーそーサイきるーーこいのおつ
えがうとられおらひて一ーサイきるーーこいのおつ
りうーやーくーりよいうぬそーてきこと移人

人が雪ほへいうこまとあーうこまおだちでをる
きこんぶう。それでぶーてかーりあこそーこう
はいまるーでーイヤりよきうがさるるふうぶそれはこう
るせへ今の一ぬれやーはてるこーぬるふう。ふーこと
のうちでふーはーこふおーぐきこーう。さぐはて
ひこーこう。ふーちーふんぐーのひもがきれうくーるふ。
ぬがこーうきうてきこーりめとーかくーおゆるしくー
おうの
ハートりふーるされ。おつりーぐやコレ世中るんが

おや勘ぞくせ〳〵出いろ所ふいろ〳〵ま
ちよういろ〳〵ぞやろいろ〳〵おでんの代ろ
八十文でよどぎうまをがおり〳〵八文百七十二銭
いろぎきろうこきろうまを〳〵ソリヤ京銭やきとういろん
おや別合ふいろそろいろ
あんまろぐおりいおりぐさがきとろあがて
ろちろろこ一せんろこ三せんろこあ二四ろうえ
ふーまろちぐ銭一ぜいろんをきろ一座でやり〳〵

りうさんさあのよろんかおまいぐこのろいを
おやろいろいろト中の人ろいろ〳〵ろもこぐ系活ぐろこ人せん〳〵ろ
銭代銭ふろうハまやろも一ぜいろ〳〵ぐ二ぐろろふーそろこの系ろ活ぐ
きろまろよろちろ出ろ活ぐ
ぐろぐいろ銭人ろ一ぜサいきて人ぐ。あんまろうこ代まぎて
ちどろれ銭へぐろへぐでろをひらそ。そろろ〳〵ぐろ世て
ぐれ一ぜいろぐの銭へサアろまろ世人コンサまあろく
して銭ぐ。やーぐろろ出るよあぐ〳〵テモきろあへ
とろとろへサアろ〳〵ろまろ〳〵トいろろ活ぐろのいをろう
ひろとろ銭ぐやろ〳〵ぐ

洛陽　凡仲

二条よ
とあるく
ばらく姿
の子

あごうの出るゆゑ、出るされ、アイおせんせうも
しさく法さんいう延うごかきる〳〵
をどやうに人を茶ゆして ねだんも
屋うちわ 傍を 寺つち 傍
見ようもうこと。天神の社内ふうするが。東の門か
一条ごとうふ出るをとをあるぎうかくしわ法
南向の門と出るふ。あもはごもらの拂子と飾し
ちや屋のかぐちうくるれば法〳〵手傳とろうまて

まりてりく。さろきのたゝどが。四ぢうあそとふそ
うけてある。そとろちのわく人まるんぐろよりふさ
りのと。ゆハまさあくかぐろふ門ゆ。あそとへ
やきまぎふ。たぐをとろゆ。ちろ。ひよろと兄弟さ
ゝ。例の拂子りていけ〳〵ぐろ。ろてと文
あく人がるもどうもろぐ。ぐのぐいちろがあう
ちふ子のぐ下 借る足だ。ろろうがひいてきろとんろとう
ゆハ アヤアいくぐあるぐ〳〵。アン。るのよとつぢうのあろ

ポンポンはいて。茶碗のまへとそなへべ。こるのうげふをつ
てゆるゝ。よりやアたうけへ。おもめへしやア極人合ヨサ
これぐつ。コリヤたべきぐ〳〵トあくとりきるまゆこるとア食せみるうちぐがてまだ
ちゝくるれば。やうくもるゝんで。こるのうげふをうれゆくとてうどくの。
もーごとあづけ〳〵。ちゝ屋のまへふいうてこるハうちでみつてうどこぎ。
やうこれうけぬけて。ちゝ屋ふれうけ〳〵せてハせんゆ〳〵とおりひおきでく
るのよとまゝ〳〵のやうへついて。うちでゆうみる。むくろうるとうちて
コリヤこのやゝまとめへ。ゆふ者とうのしゞや。日がくれるハ
ゆいトうこどもうどぐどやぐそてるハせうぐんとまやうと
ぬけ〳〵ゆハよこぐまてせうぐんぐけ〳〵ゆう〳〵こく
コリヤ又ゆうけるいめふあふとうぐ〳〵くるいく

ソレ話ぢさん。おめへのやうへなぐれるハ一ちくせうめぶ
さんごめふあへせる。これへ〳〵トうびのけべむふ。ちゝ屋のかどまのふゆへ
女が。ゆ者ぐ。コリヤ。ちくとうちゝやでこうまをうるゆ。
おまうるされコリヤとそそうけうまてこコリヤ。さ
まゝゆく〳〵トーかくきんゆうけうぐ。コレナまゝどうど
ちゝ屋のこのもえで。
ざうまをうるヨイ〳〵トうびうれどうまゆうるうゆげう
ちうハまうくうゆうゆうゆうけうぐ。
女人ハやうくゝいまをまうふうけうぐ。下の茶碗
こうちゝ屋ぎ。こよん者ぐう出。こゝ者ハ雑。ゆ

の廓中とかなしてやとなりあるべいの者く
せたがやしゝ合せて陸奥の人よ。乃ちとがらを弱枝
子なりとがりてゆくなりぐるよ。町をそなれて来るふ雪
多折んとを世をと人で見るうち
東寺つゝの花のさかりよ
うたちうこ生寺ふ寺ふ寺ふ花屋かゝ見よ
うてうせうる。あ中の茶屋せよ引とあれてそれか
宿とさぐ先うちあゝるがあくる日作者を見ん

あゝ朱雀院よりの仏殿街をとよまうよ
渡のたもとゆうとうよりうよ雪降る中のうて
大仏へおもむきたる

道中猫雪毛七編下終